

**2026年3月期  
第2四半期（中間期）**

**決算補足資料**

**株式会社ベルーナ**

証券コード：9997



**2025年10月31日（金）**

# 1. 連結損益計算書

BELLUNA

売上高 : 979.9億円、前年同期比+0.9%となった。

営業利益 : 48.7億円、前年同期比+36.5%となった。

経常利益 : 為替差益が前年同期と比べ1.0億円増加し、45.0億円、前年同期比+8.6%となった。

当期純利益 : 投資有価証券売却益が前年同期と比べ9.7億円増加し、33.3億円、前年同期比+29.7%となった。

単位 : 億円

連結	25/3期 中間期	26/3期 中間期	26/3期 中間期		
	実績	予算	実績	前年比	予算比
売上高	971.3	978.0	979.9	+0.9%	+0.2%
売上原価	374.1	-	362.3	-3.2%	-
販売管理費	561.4	-	568.9	+1.3%	-
営業利益	35.7	40.0	48.7	+36.5%	+21.9%
営業外損益	5.7	-7.1	-3.8	-	-46.9%
(内、為替関連損益)	(4.6)	-	(5.6)	-	-
経常利益	41.4	32.9	45.0	+8.6%	+36.7%
当期純利益	25.7	19.0	33.3	+29.7%	+75.1%

## 2. セグメント別損益

BELLUNA

売上高 プロパティ・ホテル、グルメ、その他、データベース活用の4セグメントが増収

営業利益 プロパティ・ホテル、化粧品健康食品、ナース関連、アパレル・雑貨、その他の5セグメントが増益  
グルメ、呉服関連、データベース活用の3セグメントが減益

- ・プロパティ・ホテルは、国内ホテル事業において、国内旅行やインバウンド需要の増加により増収増益。特に札幌エリアや大阪万博が開催された関西エリアの国内都市型ホテルにおいて稼働率や客室単価が大幅に上昇した。
- ・化粧品健康食品は、化粧品通販事業において、新規顧客獲得数が減少したことなどにより減収となった一方で、非効率な広告宣伝を控え収益性の確保を優先したため増益となった。
- ・アパレル雑貨は、原材料・資材価格及び紙・印刷価格が高止まりする中、DM配送費の値上げを受けたため、紙媒体の発行数量を減らすなど収益性を重視し広告宣伝費の抑制を図った。あわせて、不採算事業であったファッションECモールのサービスを2025年3月31日に終了したことにより減収となったが、収益性は大幅に改善した。

### セグメント別売上高と営業利益

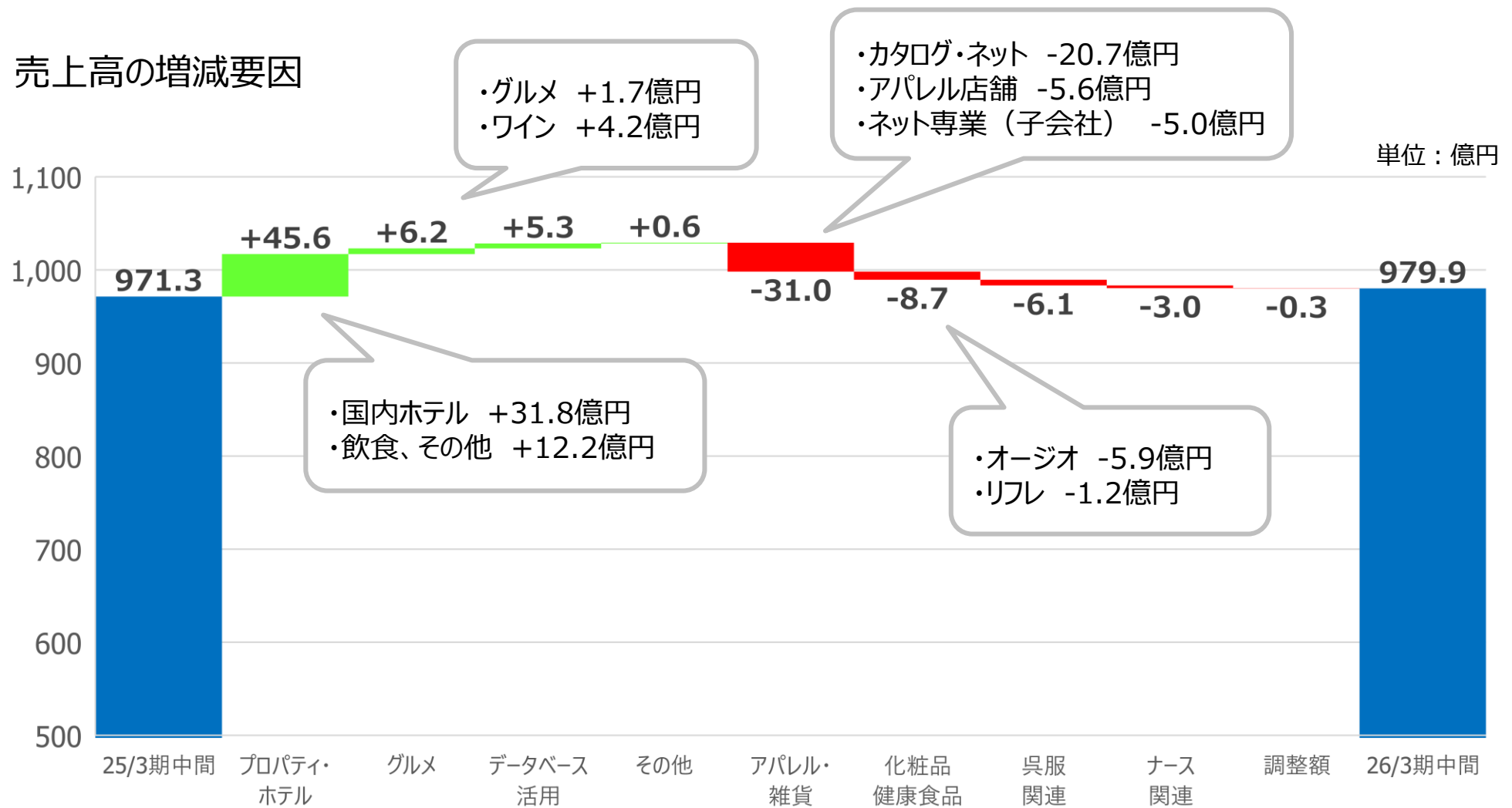
単位：億円

	26/3期 中間期												
	グロス領域						サステナブル領域				データ ベース 活用	調整	計
	プロパティ・ ホテル	専門通販			小計	呉服 関連	アパレル・ 雑貨	その他	小計				
		化粧品 健康食品	グルメ	ナース 関連									
売上高	212.1	58.9	133.1	63.4	255.4	467.5	95.0	322.6	13.4	431.0	88.2	-6.8	979.9
前年比 (%)	+27.4%	-12.8%	+4.9%	-4.5%	-2.1%	+9.4%	-6.0%	-8.8%	+5.1%	-7.8%	+6.4%	+5.3%	+0.9%
予算比 (%)	+8.4%	-8.1%	-1.5%	-4.7%	-3.9%	+1.3%	-6.4%	-3.0%	-5.7%	-3.8%	+3.7%	-59.2%	+0.2%
営業利益	35.0	5.3	-0.0	3.7	9.0	44.0	-5.7	-9.3	-2.6	-17.5	22.7	-0.4	48.7
前年比(億円)	+7.0	+4.4	- 0.6	+0.6	+4.3	+11.4	- 1.7	+6.1	+0.4	+4.9	- 2.9	- 0.3	+13.0
予算比(億円)	+0.2	- 0.6	- 0.4	- 0.4	- 1.4	- 1.3	- 2.4	+4.3	- 0.2	+1.8	+0.7	+7.5	+8.7
営業利益率	16.5%	9.1%	-0.0%	5.8%	3.5%	9.4%	-6.0%	-2.9%	-19.3%	-4.1%	25.7%	-	5.0%
前年比(pt)	- 0.3	+7.6	- 0.5	+1.1	+1.7	+1.8	- 2.0	+1.5	+4.3	+0.7	- 5.2	-	+1.3
予算比(pt)	- 1.3	- 0.3	- 0.3	- 0.4	- 0.4	- 0.4	- 2.7	+1.2	- 2.3	+0.2	- 0.1	-	+0.9

### 3. 売上高の増減分析

BELLUNA

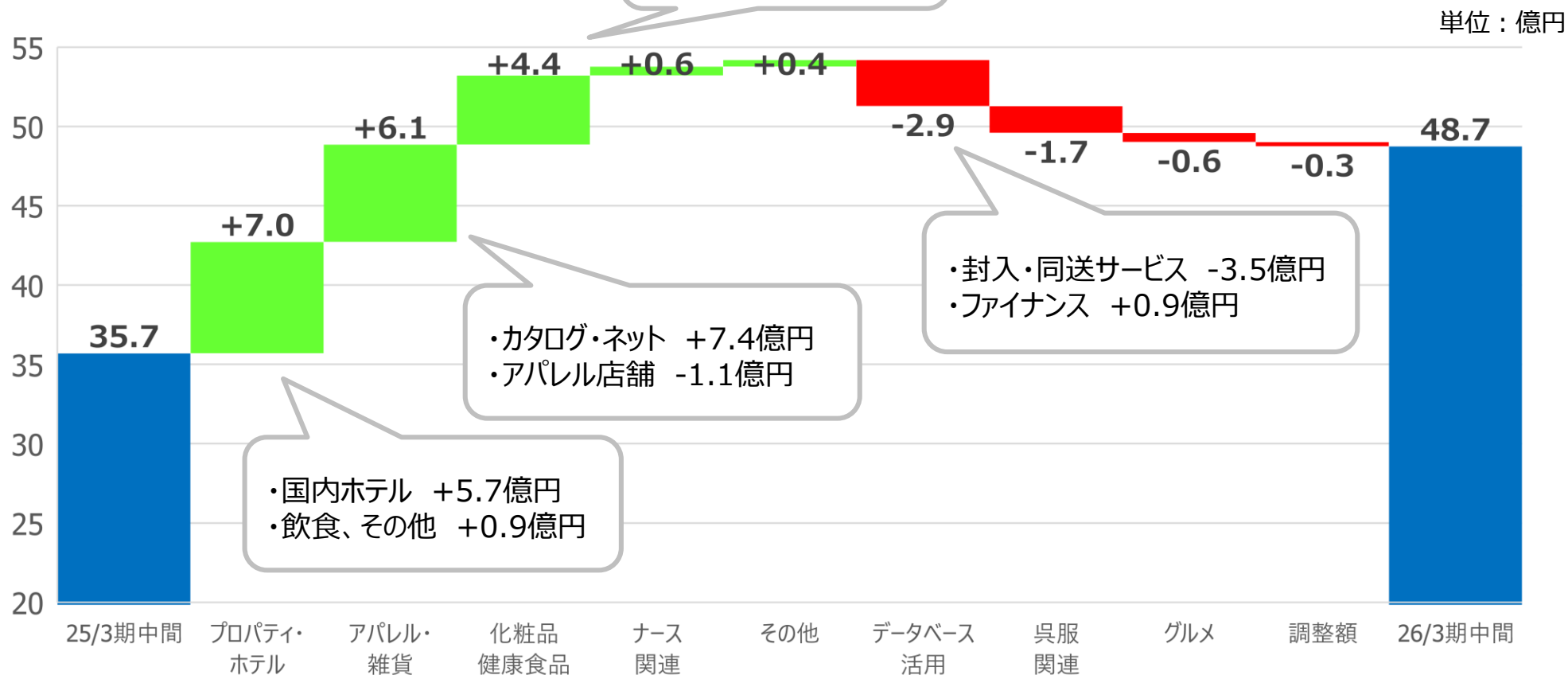
売上高の増減要因



## 4. 営業利益の増減分析

BELLUNA

### 営業利益の増減要因



## 5. 連結貸借対照表

単位：億円

BELLUNA

	25/3末	25/9末	増減額
流動資産	1,314.4	1,351.2	+36.8
受取手形及び売掛金	108.7	102.5	- 6.2
営業貸付金	344.7	363.0	+18.4
商品及び製品	256.6	270.9	+14.2
販売用不動産	71.8	87.5	+15.7
固定資産	1,810.2	2,009.3	+199.1
有形固定資産	1,459.5	1,659.4	+199.9
無形固定資産	118.2	110.5	- 7.7
投資その他の資産	232.4	239.4	+6.9
総資産	3,124.6	3,360.6	+235.9
負債	1,708.1	1,931.0	+223.0
支払手形、買掛金及び電子記録債務	128.6	116.4	- 12.2
契約負債	34.5	46.0	+11.5
短期借入金	248.5	215.8	- 32.7
未払費用	140.0	114.6	- 25.3
長期借入金	1,028.5	1,304.6	+276.1
純資産	1,416.6	1,429.5	+12.9
【自己資本比率】	[45.2%]	[42.5%]	[-2.7P]

## <本資料に関する注意事項>

本資料は、2026年3月期第2四半期（中間期）に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年10月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

## <IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp